

「どやの」とは、福井弁で「どうですか?」「いかがですか?」という意味で、ボランティア活動などちょっと始めてみませんか?という思いが込められています。



■フィリピン・ミンダナオ島の先住民族・ブラアン族の子どもたち(ジェネラルサントスにて)
※写真提供:牧野佳奈子氏(上と右下)



環境と文化の視点からアジアを見つめる
フリーランス・ドキュメンタリスト

まきの かなこ
牧野 佳奈子さん

单身、新しい世界に飛び込むパワー!!

牧野さんは丸岡出身。今も福井に住んでいます。

福井テレビで報道記者を3年間勤めて退職後、2008年3月から1年間、カメラを手にマレーシア、フィリピン、インドなど、アジア7カ国を訪ね歩き「環境」の切り口から、現地に生きる人々の暮らしを取材し続けました。

その際に記録した写真や映像をもとに、「アジアの力」という展示イベントを開催。現地の人々と共に生活した視点から情報発信を続けています。

写真や映像の中には、ボルネオ島(マレーシア領)で尾根伝いに伐採が進み、むき出しにされた地面が、まるで毛細血管のように広がる様子や、土地に暮らす人々が、流出した泥で濁った川を途方に暮れて見守る姿が映し出されます。

そこには、日本ではなかなか見られない「現実」がありました。そんな牧野さんが環境問題に携わろうと思ったきっかけを聞くと「罪悪感です。」との答えが。

「毎日いろんなものを使い捨てる生活の中で、自分が間接的にでも地球環境を壊していることの罪悪感から、解放されたかったんです。」

それは、自分と真摯に向き合ったからこそその言葉でした。

また、行政や大組織が進める環境対策の意義を認めながらも、牧野さんは「結局、普通に暮らしているみんなの気持ちが変わらないとダメなんですよ。」…とも考えています。

…そんな思いを胸に、アジアからの発信を始めた牧野さんですが、その第1歩は、決してスムーズではなかったようです。

テレビ局を退社後、お世話になることが決まっていた、米国のドキュメンタリーフィルム監督が急病で倒れ、計画は白紙に。

そのため、他のプロダクション所属への道を探りながら、半年

の間、悩み、もがき、体調を崩すまでになりました。

ただ、その苦悶の期間を自分なりに「のたうち回った」先で、ふと、フリーで活動することを決心する瞬間が訪れたそうです。

「いろんな選択肢を目の前にして、とことん悩んだ後に選んだ結論は、きっと正しいんだと思ってます。」…それが、彼女のたどり着いた信念でした。

経済、伝統文化、情報といった要素が、複雑に絡み合っている環境問題を見つめながら、牧野さんは、森林伐採の痛々しい写真と一緒に、その土地の子どもたちや、少数民族の穏やかな日常生活も、同じように撮影しています。

その、一見矛盾した現実が同居する姿を伝えることで、みんなに本気で悩み、考えてもらいたい。…つまり、それが牧野さんの目指す、本当の「発信」なのかもしれません。

牧野さんの写真は、8月22日(土)、鯖江市嚮陽会館で開催される「さばえ環境フェア2009」でも展示されます。また、12月には、同じく嚮陽会館にある、コミュニティー・カフェ「こころ」で、「アジアの力」展示会も開かれる予定です。



▲マレーシア・ボルネオ島 熱帯雨林の現実(クラブビット高原)

- 「アジアの力」展示会日程
2009年9月1日(火)~9月6日(日)…小浜市 羽賀寺本堂(重要文化財)
2009年12月2日(水)~12月28日(月)…鯖江市 嚮陽会館内「こころ」(予定)
- 「アジアの力」エッセイブログ <http://blog.goo.ne.jp/asia09>

編集・お問い合わせ この回覧板は、鯖江市との共働事業で発行しています。

特定非営利活動法人 さばえNPOサポート
(さばえNPOセンター指定管理者)

〒916-0024 鯖江市長泉寺町1丁目9-20 鯖江市市民活動交流センター内
TEL : 0778-54-7055 FAX : 0778-54-7058
Email : info@sabae-npo.org

♥誰でも気軽に使える情報発信♥

鯖江市内の市民団体ならばイベントやお知らせを掲載できます。

ホームページ : <http://www.sabae-npo.org/>

